



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —



2025年

8月

No.329



～「ありがとう」の気持ちをのせて～

町内小学校、生徒代表のみなさんに葉書をお届けしました！

- P2 ふれあい交流会／地域福祉課
地域サロン200回記念／地域福祉課
- P3 地域福祉委員例会／地域福祉課
在宅介護者のつどい／地域福祉課
- P4 社会福祉士連絡会／在宅福祉課
実習生紹介
- P5 安全大会／シルバー人材センター
報告会／シルバー人材センター
- P6 令和6年度事業報告・決算報告
- P7 社協情報／もの忘れ相談室、心配ごと相談など
- P8 地域サロン／宮園きずなサロン、馬水北まごころサロン
地域を支えるふくしの輪／レク道具の貸し出し

8月の社協だより

今月号の表紙は、「ふれあい交流会」です。お一人暮らし高齢者の皆さまから返信いただいた葉書を、送り元である各小学校の皆さんへお届けしました。

その他、当協議会が実施した「地域福祉委員例会」や、「在宅介護者のつどい」についてご紹介しています。

また、「社協情報」では、8月の相談日やお知らせを掲載しています。

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

地域の高齢者と子どもものつながり

町内の小学校に通う5・6年生

の児童たちが作成したメッセージ

カードを民生委員児童委員の皆

さんを通じて、65歳以上の一人

暮らしの方々にお届けしました。

先月号に続き、今月号では、

そのメッセージカードに届いた

返信はがきをご紹介します。は

がきには、「日ごろの子どもた

ちの挨拶や元気な声に心が和

み、元気をもらっています」「運

動会に10年ぶりに参加し、頑

張る子どもたちの姿に感動し

ました」といった、あたたか

い言葉がつづられていました。

いただいた返信はがきは、メッ

セージカードを作ってくれた各小

学生に届けました。「返事が返っ

てきてすごい！」と驚きの声があ

がり、子どもたちは届いたはがき

を見せ合いながら、うれしそうに

目を通していました。



水墨画が描かれた素敵な絵葉書も！



たくさんのあたたかいメッセージを頂きました



地域サロン200回記念 地域福祉課

惣領1町内ニコニコサロン会

熊本地震や新型コロナウイルスの流行を経験しながら、20年をかけて、開催200回を達成することができました。達成までには、歴代の区長さんと町民の皆さん、社協の皆さんとが一つになり、心の健康と笑顔があったからだと思います。今後も参加者皆さんが楽しめるサロン開催を継続したいと考えていますので、今後ともご協力をお願いします。

福富シラカシサロン

暑さ真っ盛りの6月に200回を迎えました。これはひとえに、参加される皆さんと15年もの長きに渡りサロンを支えておられる富田幸子民生委員および歴代の民生委員、地域福祉委員、社協をはじめ関係機関の皆さまのおかげと深く感謝しています。

春の花見、夏の七夕、秋の月見、師走の餅つきなど、楽しい行事が目白押しです。今後も「サロンは楽しい、会えて嬉しい」をモットーに元気で和気あいあいとながア〜く、ながア〜く続くサロンを目指します。



皆で楽しみ、体も心もいつまでも健康に！



季節イベントも企画し、毎回和気あいあい！

地域福祉委員例会

地域福祉課

令和7年度第1回地域福祉委員例会

6月18日(水)保健福祉センター
はびねす多目的室にて開催しました。
た。

本年度より「高齢者相談・地域福祉委員」の名称を「地域福祉委員」に変更しました。これは益城町の地域共生社会実現のために、高齢者だけでなく地域全体の住民の見守りをするために変更となったものです。この件について社協より説明し、重層的支援体制整備事業について研修を行いました。研修会の後は、グループワークを行い「活動するにあたり困っていること」について意見交換を行いました。委員からの意見として「訪問しても個人情報で門前払いされる」「何度訪問しても会えない」「団地からいつの間にか居なくなる。住宅管理センターや役場に聞いても教えてもらえなかった」など、訪問の難しさを感じられる意見が多くありました。

今後の例会において高齢者に関する情報だけではなく、福祉に関する多分野の研修会を行い、地域活動に役立てていけるよう企画していきます。



意見交換の後は発表を行い意見の共有を行いました



グループワークでの意見交換の様子

在宅介護者のつどい

地域福祉課

令和7年度第1回在宅介護者のつどい

6月26日(木) 日本茶専門店 Green tea Lab(小谷)にて開催しました。高齢者グループホームふるさとの遠藤施設長を講師として、グループホームの取り組みや介護のポイントについての講話を頂きました。

参加者の自己紹介の際には、介護歴や介護に疲れた時の気分転換の方法などを発表していただき「介護に疲れた時は、デイサービスやショートステイを利用して息抜き」の時間を作っている」「韓流ドラマを見たり、カラオケや体操に

参加して気分転換をしている」「大変な時もあるけれど、後悔のないように楽しみながら介護をしている」など、参加者自身、工夫しながら気分転換を取り入れて介護されている様子が伺えました。

カフェの落ち着いた雰囲気の中、参加者同士で食事やおしゃべりを楽しみながら、ゆっくりとした時間を過ごされました。



講話の様子



お互いの情報交換の場となりました

社会福祉士連絡会

在宅福祉課

益城町を支える社会福祉士たちが集まりました！

この連絡会は、町内の事業所に所属する社会福祉士の、住民の安心安全な暮らしと課題解決に向けた体制づくりを目的に開催しています。

第13回の連絡会は、7月8日（火）に地域共生センター「カタル」で開催し、30名が参加しました。

連絡会のメンバーは定期的に集まり、研修や町の状況把握、情報交換を通し、課題を協働で解決できる環境づくりに務めています。

今回は、法人後見事業に関する講義を行い、多分野交流のグルー

プワークを行いました。

近年、全国的に成年後見制度の認知や活用が進んでおり、当協議会でも前年度から法人後見制度事業を実施しています。

グループワークでは「利用者や相談者の中には、日常生活のさまざまな場面で意思決定が求められる際、認知機能や障害の影響により判断が難しい方々に対して、どのように説明し、支援を進めるのが良いか悩むことがある」といった意見も出されました。



講師の近藤さんによる法人後見事業についての講義



町内連携を深める社会福祉士の顔ぶれ

法人後見事業とは？

（成年後見制度）

成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方を法律的に支援する仕組みで、本人の権利を守りながら、生活全般を支えることを目的としています。

法人後見事業では、社会福祉協議会等が「法人」として成年後見人に就任し、判断能力が不十分な方の財産管理と身上保護を行います。

個人が後見人となる通常の成年後見制度と異なり、法人が組織的に支援を行うため、継続性・専門性が高く、後見人の交代による支援の中断などのリスクが少ないのが特徴です。

他にも、地域に根差した自らが持つネットワークの知見や情報を活用し、素早い対応ができます。

また、法人内で複数の職員が連携して対応するため、専門的なノウハウを活かした安定した支援が期待できます。特に、親族がいらない方や支援が長期間にわたる場合に有効な制度です。

利用者にとっては、生活支援や医療・介護の手続き、財産管理などの面で、法人による継続的に信頼できる支援を受けられるメリットがあります。

実習生紹介

氏名 松野紫苑さん
まつの しおん



実習期間 6/2～7/2

趣味

ライブに行くことです。

好きな食べ物

じゃがりこ

益城町の良いところ

都会と田舎それぞれの良さを持ち合わせているところです。

将来の目標

資格試験に合格し自分が希望する仕事に就き、楽しさを感じながら前向きに働けるようになりたいです。

実習の感想

社協は多様な活動を行っています。どの活動においても、その根底には「地域住民が安心して生き生きと暮らせるように」という思いがあるのだと感じました。

実習後の社協のイメージ

社協について詳しく知らなかったのですが、実習を通して、地域と密接に関わりながら、地域住民の暮らしを支えていることがわかりました。困った時や地域のために何かしたいと思った時に、こうした場所が力になってくれるのではないのでしょうか。

令和7年度 第1回報告会開催

7月9日（水）保健福祉センターはびねすにおいて、報告会を開催しました。当日は、会員50名の参加がありました。

報告の前半は、前年度の活動実績や取り組み内容について報告を行い、成果を共有しました。続いて、今年度の活動方針や重点目標について説明を行いました。

シルバー人材報告会 シルバー人材センター

後半では、各班長よりそれぞれの班で行っている活動内容や工夫などについて紹介があり、会員同士の理解と連携を深める機会となりました。

また、熊本市消防局益城西原消防署の一村直樹氏から「熱中症対策」「現場でケガをした場合の対処と予防法」について講演いただきました。質疑応答では「作業中の水分補給の内容」「救急車を呼ぶときの場所の説明方法」等の質問がありました。

今年度も安全作業に務め、地域の皆様から喜んでいただけるように取り組んでまいります。



講師の熊本市消防局益城西原消防署 一村直樹氏

今後も安全第一 に活動に

県シルバー人材センター連合会主催で7月8日（火）ウイングまつばせ文化ホールにて開催されました。当センターから安全委員の会員4名が参加しました。

まず、それぞれの就業においては、安全・適正就業の確保が最優先との話しがありました。県下人材センターの会員は「安全は全て

安全大会

シルバー人材センター

において優先する」を合言葉に事故防止に務めることを強く宣言されました。次に、熊本労働局労働基準部健康安全課より「労働災害の現状と防止対策」について講話があり、各会員が安全に対して関心を持つことの重要性を学ぶことが出来ました。また、連合会安全・就業優良センターの表彰もあり、事故防止活動に積極的に取り組まれた4人材センターが表彰されました。当人材センター安全委員からは「安全意識を改める良い機会となった。全会員に共有したい」と所感を述べられていました。



菊地市人材センター会員による安全適正就業宣言の様子



皆さん熱心に聞き入っていました



今年度の安全委員に任命された会員

令和6年度 事業報告・決算報告

1. 地域コミュニティづくり

生活支援コーディネーター（SC）、地域サロンコーディネーター（ASC）、認知症地域支援推進員を中心に、主催事業や各種講座の開催、地域サロンによる地域の活性化や地域で活躍できる場の提供を進めました。

また、多世代な各団体からの意見収集を通じて、そこから、地域の現状や課題を把握し、地域の見守り活動の把握や情報共有をより深めることで地域福祉活動を取り組みました。

2. 多様化・複合化した課題への対応

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施されたコロナ特例貸付世帯に対してフォローアップ事業を展開し、現在の生活状況等のアンケートや架電、面談を

実施したことで、必要に応じた償還猶予や免除の手続き、次の施策等への寄り添った支援を行うことができました。

3. 重層的支援体制整備事業

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を中心とした重層的支援体制整備事業では、行政区別福祉座談会を区長や民生委員、地域福祉委員の協力のもと、町内全地区で開催することで、地域の多様化・複合化した課題の把握及び情報の共有化を図ることができま

した。また、関係機関等との情報共有により、困りごとを見逃さないアウトリーチ等を通じた継続的支援に取り組み、横断的な支援体制づくりの実現に向け、ネットワークの構築を図ることができました。

4. 成年後見法人後見事業の開始

地域住民が安心して住み続けることができる体制を整えるために、10月に熊本家庭裁判所から法人後

見事業の設置承認を頂き、受任に向けて事業を開始しました。

5. シルバー人材センター

会員が長年培ってきた知識・技能・経験を活かして、住民や企業等の依頼にそれぞれが役割を発揮できるように進めていきました。また、現会員をモデルとした会員募集のチラシの作成や町内施設への掲示、入会説明会や広報での周知なども工夫し、会員増につなが

っています。また、就業以外の面では、地域貢献活動の一環として奉仕活動やリサイクル活動に取り組み、レクリエーション等を通じ会員同士の親睦を深める機会を設けました。

収入の部

	勘定科目	決算金額（円）
1	寄付金収入	3,565,500
2	経常経費補助金収入	23,090,987
3	受託金収入	49,967,650
4	事業収入	149,700
5	負担金収入	2,008,000
6	介護保険事業収入	4,917,050
7	シルバー人材事業収入	58,349,574
8	その他の収入	266,089
9	その他の活動収入	11,524,520
10	前期末支払資金残高	64,262,897
	合計	218,101,967

支出の部

	勘定科目	決算金額（円）
1	人件費支出	73,530,097
2	事業費支出	71,143,703
3	事務費支出	4,833,054
4	助成金支出	4,546,040
5	固定資産取得支出	0
6	その他の活動支出	15,528,040
7	当期末支払資金残高	48,521,033
	合計	218,101,967

社

協

情

報

当協議会が実施するイベントや相談日等について掲載しています。詳細はお気軽にお問い合わせください。

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／8月19日（火）

① 13時30分から ② 14時30分から

③ 15時30分から

場所／役場1階相談室D

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

◇コミュニケーションソーシャルワーカー（CSW）

コミュニケーションソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいかわからない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

ご相談は高齢・障がい・子ども・生活困窮、ひきこもりなどの枠組みに捉われ

ず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に関する相談や暮らしの中での困りごとはコミュニケーションソーシャルワーカーへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

◇生活福祉資金貸付

他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対して、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を遅れるよう支援を行います。

（例）・離職し収入がなく生活維持が困難

・子どもが進学予定だが資金不足

・技能取得に必要な経費

・医療費の支払等による臨時の生活費が必要など…まずはご相談ください！

問／在宅福祉課

☎096-214-5566



◇シルバー人材センター会員募集

現在、事前予約制の個別入会説明会を実施しています。活動内容についてのご相談も可能です。興味のある方は、事前にご連絡ください。

日時／随時（平日9時から16時まで）

場所／保健福祉センター内事務所

（住所／益城町惣領1470）

問／シルバー人材センター

☎096-289-6092

◇車イスの貸し出し（無料）

企業や団体等からご寄付いただいた車イスを無料で貸し出しています。町内在住の高齢者や身体の不自由な方、一時的な病気やケガをされた方が対象です（※介護保険、その他の制度で対応が可能な方は対象外となります）買ひ物や通院、旅行などの際にご利用いただけます。

※貸し出し期間は最大1か月です。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566



◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要（相談対応中の方はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください）

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

※相談員は左記の表をご覧ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

※相談員は変更になる場合もあります。

日程	専門相談員	相談員	
8月6日(水)	松尾 一 (行政相談委員)		津田秀雄 (民生児童委員)
8月13日(水)	松尾英美 (司法書士)	後藤奈保子 (人権擁護委員)	松本みゆき (民生児童委員)
8月20日(水)	松尾 一 (行政書士)	清水志保美 (人権擁護委員)	村上恭一 (民生児童委員)
8月27日(水)	松尾英美 (司法書士)		志賀親義 (民生児童委員)
9月3日(水)	松尾 一 (行政相談委員)		豊永苓二 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ、地域の人々が楽しく集える場づくりが盛んに行われています。また、介護予防や閉じこもり防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動にも取り組んでいます。

宮園きずなサロン



毎年、季節を感じる行事を企画されています

平成23年12月から始まった宮園きずなサロンは、毎回15名ほどの参加があり、季節に応じて工夫を凝らしたサロン活動を実施しています。

開催日／毎月第2火曜日

時 間／10時から

場 所／宮園公民館



レクリエーションは毎回白熱！

馬水北まごころサロン



たくさんの皆さんが参加され、賑やかなサロンです

平成18年12月から始まった馬水北まごころサロン、先月号に続き、今月号では馬水北公民館での活動の様子を掲載しています。

開催日／毎月第3木曜日

時 間／10時から

場 所／奇数月：馬水北公民館

偶数月：馬水団地集会所



皆さんが見守る中、一球入魂！

地域を支えるふくしの輪

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動をご紹介します」

レクリエーション道具の貸し出し（モルック）

モルックは、フィンランド発祥の軽スポーツで、木製の棒を投げて番号が付けられたピンを倒すというシンプルなルールが特徴です。このスポーツは1996年にLahden Pikka社によって考案され、現在では世界中で楽しまれています。特別に体力を必要とせず、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人々が参加できる点で、多くの人々に親しまれています。

今回、当協議会で2セットを準備しました。いつでも貸し出し可能ですので、この夏休みの機会にご家族・ご友人同士で楽しませてはいかがでしょうか。お気軽にお問い合わせください。



どなたでも楽しめるスポーツです

2025年

8月

No.329

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470

益城町保健福祉センター「はびねす」内

TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567

ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

